

ヒルズレポート

2024. 1 月



サイエンスヒルズこまつ
SCIENCE HILLS KOMATSU

1/20 (土) JAIST サイエンス&テクノロジー教室

「身近な水や川の環境、生き物との付き合い方について学んでみよう!」

講師 北陸先端科学技術大学院大学トランスフォーマティブ知識経営研究領域 吉岡 秀和 先生

この教室では、人間が身近な生き物とどのように関わっていくことが環境保全につながるのかということ学びました。自分たちで川の絵を描き、みんなで話し合っアイデアを出し合いました。話し合いには間違いを恐れないとの注意もありました。「アユが住むには水の量はこれくらいかな?」「流れが速すぎたら小さい魚や虫は育たない。」「水草があれば何とかなるかもね。」など、多様な視点から意見を出し合っていました。

今後の学びとして必要となるスタイルを実践した子どもたちでした。



1/21 (日)「どうしてサツマイモは焼くと甘くなるの?」

講師 石川県立大学 中谷内 修 先生

「よく見る」「想像する」「考える」、実験を行う上で大切にしたいことを学びました。その後、サツマイモの甘味の成分となるデンプンの分解について、条件を変えて調べました。

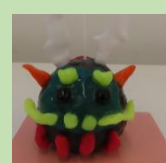
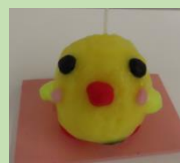
保護者の皆さんも子どもたちに寄り添いながら、一緒に実験していました。みんなとても楽しそうでした。最後に先生からサツマイモをいただき、一番甘くなるサツマイモの秘伝も教えていただきました。



作品コーナー

「干支キャンドル」

かわいいキャンドルが出来ました。



「市民大学受講生 ステンドグラス」

すごい。とても素敵な作品ですね。



「サイエンスクラブの
タワッチ君」



どんな動き方するのか。

1月1日に能登半島地震が起こりました。状況が明らかになるにつれ、その被害は甚大なものとなりました。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表します。一日も早い復興をお祈り申し上げます。いつもヒルズに来てくれる能登の子どもたちの笑顔を待っています。ともに支えあっていきましょう。